年頭にあたって

北海道保健福祉部長　古岡（ふるおか）　昇（のぼる）

新年明けましておめでとうございます。皆様と共に、新しい年を迎えられたことを心からお喜び申し上げます。

北海道医師会の皆様におかれましては、平素より、本道の保健医療福祉行政の推進に当たり、深いご理解と温かいご支援をいただき、心から感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、全てのこども、若者が、心身の状況、置かれている環境等にかかわらず、ウェルビーイングで生活を送ることができる「こどもまんなか社会」の実現を目指して、「北海道こども基本条例」を制定・施行するとともに、「北海道こども計画」を策定し、こどもの意見反映やこども体験活動などに取り組んでまいりました。

また、医師確保対策をはじめとした地域医療の確保やがん対策の総合的な推進、生活困窮者への支援や介護職員の処遇改善等を通じた介護人材の確保など多くの施策を進めてまいりました。

本年も引き続き、保健・医療・福祉の充実に向けて、「『こどもまんなか社会』の実現」「暮らしを守る地域医療の確保と健康づくり・感染症対策等の推進」「誰もが暮らしやすい社会の構築」「医療・福祉サービスを担う人材の養成・確保」という４つの重点政策の柱に沿って施策を展開することとしております。

まず、「『こどもまんなか社会』の実現」を目指し、「本道のこどもが将来にわたって幸せな生活を送ることができる社会の実現」に向け、「子どもの権利条約」や「こども基本条例」の理念等の周知、こどもの意見を道政に反映する取組の推進、「ライフステージに応じた支援」として、結婚を望む方への出会いの場の確保、不妊や不育症の経済的負担や不安の軽減などの取組を推進してまいります。

２つ目の「暮らしを守る地域医療の確保と健康づくり・感染症対策等の推進」として、「地域に必要な医療の確保や健康で安心して活躍できる社会づくり」を進めるため、医師や看護師等の医療人材の確保対策、地域医療構想の推進、メディカルウイングやドクターヘリの運航等による救急医療体制の確保、がん対策や健康づくり等の推進、新たな感染症危機に備えた平時からの体制整備を推進してまいります。

３つ目の「誰もが暮らしやすい社会の構築」として、「誰もが共に支え合い、発展できる社会の構築」を進めるため、孤独・孤立対策の推進や、生活困窮者への支援などによる「セーフティネットの充実・強化」、属性や世代を問わない相談体制の整備などによる「地域共生社会」の実現、障がい者の地域生活支援などの「障がい者支援」、地域包括ケアの推進に向けた支援の充実などによる「高齢者支援」などに取り組んでまいります。

４つ目の「医療・福祉サービスを担う人材の養成・確保」では、「医療や福祉サービスに必要な人材の確保とキャリア形成の推進」のため、「医療人材の養成・確保」に向けた職場環境改善の取組への支援や医療体験の場の提供などの取組、介護職員などの「福祉人材の養成・確保」に向けた介護未経験者への研修支援や介護事業所等の勤務環境改善への支援などに取り組んでまいります。

今後とも、一人ひとりが豊かで安心して住み続けられる地域社会を創るため、関連分野の施策と連動しながら、道民生活に不可欠な保健・医療・福祉サービスのより一層の充実に努めてまいりますので、北海道医師会の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

この一年が、皆様にとりまして、素晴らしい年となりますよう心からお祈り申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

謹賀新年

2026年　元　旦

北海道医師会

会長	松家治道	常任理事	寺本瑞絵	理事	西條泰明
副会長	藤原秀俊	〃	白崎修一	監事	梶　良行
〃	佐古和廣	〃	村上　学	〃	阿久津光之
〃	鈴木伸和	〃	末岡裕文	〃	松岡伸一
常任理事	目黒順一	理事	今　眞人	顧問	長瀬　清
〃	橋本洋一	〃	坂本孝志	〃	中川俊男
〃	水谷匡宏	〃	小西宏明	参与	小熊　豊
〃	山科賢児	〃	大本晃裕	〃	深澤雅則
〃	伊藤利道	〃	沖　一郎	〃	笹本洋一
〃	青木秀俊	〃	小西勝人	代議員会議長	大原正範
〃	荒木啓伸	〃	中條　拓	代議員会副議長	滝山義之
〃	長谷部千登美	〃	吉田茂夫	事務局長	三瓶　徹
〃	菅田忠夫	〃	稲葉秀一		他職員一同
〃	髙橋　聡	〃	柴田香織		

謹賀新年

2026年　元　旦

北海道医師国民健康保険組合

理事長	松家治道	理事	菅田忠夫	顧問	長瀬　清
副理事長	三戸和昭	〃	鎌田　理	組合会議長	神田雄司
常務理事	鈴木伸和	〃	多米　淳	組合会副議長	久保田達也
〃	田代典夫	監事	外園光一	事務長	中澤和則
理事	今　眞人	〃	立石圭太		他職員一同
〃	滝山義之	顧問	赤倉昌巳		